

---

# アイランドの学へタ日記

マネー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アイルランドの学へタ日記

### 【Nコード】

N9116Y

### 【作者名】

マナー

### 【あらすじ】

どうもです。

今回が初トーコーの『マナー』です。

gdgdですが、生暖かい目で見守って頂ければ幸いです。

## 序章（前書き）

アイルランドとヴァチカンはオリキャラです。  
とにかくbasasasです。

さーせん・・・（泣）

## 序章

こんにちは!!!

俺はアイルランド。

W学園に通う高校1年生!

寮生活なんだけど・・・

??? (アイル!!!)

何ブツブツ

言ってるんだよ!!!

(nynyn)

よりによってプロイセン。

確かに俺は不憫だけだね・・・ (泣)

??? (ボンジョルノ)

??? (ヤツホー)

??? (・・・よお。)

こいつ等はイタリア3兄弟妹。

(ちなみに上からイタリア、ヴァチカン、ロマーノだ。)  
どっからどう見てもヘタレの兄弟妹だ。

??? (おはようさん)

チユロスの

差し入れに来たで

こいつはスペイン。

とにかく明るくて面白い奴だ。

あと料理が上手い。

まあ、今いるメンツはこんなもんだ。

このメンツを見てると入学当時を思い出すなあ・・・

(次回に続く・・・)

## 序章（後書き）

絞め方が分からん!!!（泣）

もう続く形で締めました。

多分、続くと思うんで、次回もよろしくお願い致します（ペコリ

## オリキャラ設定(前書き)

オリキャラの説明をします。

## オリキャラ設定

オリキャラの紹介して無かったので、今します。

アイルランド

年齢〓 高校1年生

身長〓 150.2?

体重〓 39.6?

性別〓 女

一人称〓 俺

性格〓 とにかく明るく、楽観的

方向音痴

負けず嫌いだが、プライドは低い

仲間の為なら

とことん情熱燃やしまくる

ヴァチカンとは親友

特技〓 料理、喧嘩、大食い、逃げる

好きなもの、こと

〓 シエスタ、食べること、二次元、読書、動物、歌う、運動  
嫌いなもの、こと

〓 勉強、不良、イギリス(兄)

ヴァチカン

身長〓 149.0?

体重〓 38.0?

性別〓 女

一人称〓 あたし

性格〓 明るく、優しい。



絶対音感をもっている

アニメ声

負けず嫌い

何か黒魔術使える

アイルランドとは親友

特技〓絵を描く、歌う、逃げる

好きなもの、こと

〓シエスタ、歌、二次元

嫌いなもの、こと

〓イギリス、争い事

・・・と、こんな感じですよ。

後のキャラクターは原作と同じです

これからもお願いします（）ペコリ



## アイルの回想（前書き）

今回はアイルの昔の話です。

## アイルの回想

昔、俺達は人間だった。

何で『俺達』なのかっていうと、

ヴァチカンも昔は人間だったからだ。

話を戻して俺達は同じ中学校に通うごく普通の学生だった。

でもある日、俺らの人生は他の人と全く違うものになった・・・

忘れもしない夏の日・・・

俺達は学校の守り神が出ると噂の場所に来ていた。

そこは普段、生徒が入れないよう鍵がかかったドアがあった。

しかし、その日はドアが無かった。

鍵がかかっていなかった訳ではなく、ドア自体が無かったのだ。

俺は不思議に思ったが、そのままスルーしてしまった。

噂の場所には謎の石板があった。

不思議に思った俺が石板に触れた瞬間、真っ白な光が俺達を包みこ

んだのだった・・・

(次回へ続く・・・)

## アイルの回想（後書き）

ggggggですね・・・

自分の文才の無さが・・・（泣）

いざ世界W学園へ！…！（前書き）

今回はセリフが多いです。

アイルランドは「アイル」〜」となっております。

いざ世界W学園へ!!!

まばゆい光が消え、目を開けると、おじいさんがいた。

???）ほお・・・君達が・・・

おじいさんはいきなりニヨニヨしました。

よく現状が分からない俺は、おじいさんに質問してみた。

アイル）あなたは誰ですか？

???）よくぞ聞いてくれた!!!

我は『神』じゃ!!!

アイル）はいっ!!??

このじいさん頭大丈夫かなあ・・・

神様）ワシは君達を迎えに来たのじゃ。

いざ来たれ!!!

ヘタリアの世界へ!!!

俺達）はああっ!!??

やっとヴァチカンが喋った。

今までビツクリし過ぎて喋れなかったらしい。

で、その神様（？）が言うには世界W学園の入学人数が少なすぎるので、俺達に国になって欲しい・・・という事らしい。

俺達はヘタリアが好きだったから、勿論こう返事した。

俺達( いざ行こう!!!!  
ヘタリアの世界へ!!!!



いざ世界W学園へ！！！（後書き）

一話が短くてすみません・・・

ついに学園へ！……（前書き）

ついにアイルがヘタリアの世界へ！……！  
ある人と会います！……！

ついに学園へ!!!

ここは何処だろう・・・

俺はそつと目を開けた。

俺はベットに寝ていた。

その時・・・

君は今日からアイルランドだ・・・

という声が聞こえた。

それで俺は今までのことを全て思い出した。

ハツとして起き上がるうとすると激しい痛みにまた寝てしまった。

その時・・・

??? お、目が覚めたか。

ボサボサの金髪に緑碧の目・・・

俺はこの人を知っている・・・

イギ)俺はイギリス。

お前は?俺と同じだろ?

アイル)俺は・・・

アイル・・・ランド・・・

アイルランドだ。

イギ)そうか・・・

こんな小さい体で頑張ったんだな・・・

俺が小さい・・・？  
確かに身長は低いが・・・  
俺は近くにあつた鏡を見た。  
確かに小さかつた。  
いや、小さいというより『幼い』。  
そうか・・・俺は国として生まれ直したのか。

イギ) という訳で、お前は今日から俺の弟だ!!!

アイル) うん、分かつた!!!

お兄ちゃん!!!

イギ) なっ／／／／

イギリスは赤くなつたと思うといきなり泣き出した。

アイル) お兄ちゃん？

大丈夫？

俺なんか嫌なことした？

イギ) いや・・・違うんだ・・・

イギリス・・・

アイル) え？

イギ) イギリスでいい・・・

それで十分だから・・・

アイル) うん、分かつた!!!

おん・・・じゃなかつた、イギリス!!!

俺は昔の記憶がなくなっていた・・・  
人間だったという記憶が・・・  
この事を思い出したのはもっと後のこと・・・

ついに学園へ！……！(後書き)

これからはしばらく、ヘタリアの世界で成長していくマイルのことになります。

## 兄との出会い（前書き）

歴史は完璧に無視しています。

ついにアイツがでてきますよ！……！

## 兄との出会い

イギリスの妹になってからしばらく経ったある日。  
イギリスが家へやって来た。

イギ）アイル、遊びに来たぞ!!!

アイル）イギリス!!!

来てくr・・・

その時、いきなり誰かに抱きつかれて、ビックリした俺は黙ってしまった。

???）うわあ〜!!!

僕よりちっちゃい!!!

この子かい!!!?

僕の弟って!!!

弟？ 俺は女なんだけどなあ・・・

イギ）ああ。そいつがお前の弟だ。

アイル、コイツh「僕はアメリカ!!!君は？」

お前、人の話をさいg「俺はアイルランド。よろしく」

お前も聞けよ!!!

何かイギリスが怒ってたけど、アメリカはいい人みたいで良かった  
!!!

仲良く慣れたらいいなあ・・・



## 兄との出会い（後書き）

期末前なので勉強しなくては・・・なのですがサボってます。

そして己の文才の無さに（泣）

何かリクエストがあれば、感想等お待ちしております。

兄との出会い2 (前書き)

part2です!!!

イギリスの弟はまだいますよ!!!

## 兄との出会い2

アメリカに会ってからしばらく経ったある日、  
またイギリスが家にやって来た。

イギリス) おーい、アイルー。

遊びに来たぞー！

アイル) イギリス!!!!

また来てk・・・

またイギリスは俺の知らない子を連れていた。  
そして、また少し前と同じ現象が起きた。

????) こんにちは。

僕はカナダだよ。

この子はクマ吉さんだよ。

クマ) 誰。

カナ) カナダだよ!!!! (泣)

アイル) 俺はアイルランド。

よろしくカナダ!!!!

クマ吉!!!!

クマ) クマ次郎だ。

アイル) え!!!!?

そうなの？

じゃ、よろしくクマ次郎！！！！

クマ）よろしくな。

イギ）アイル、カナダはお前の  
兄貴なんだ。

アイル）へー・・・

確かにアメリカにそっくり・・・

イギ）反応薄すぎだろ・・・

アイル）そうかな？

そういえばお腹空いたな・・・

イギ）俺が作ってやらないこともないぞ。

アイル）ほんと！！？

わぁーい！！！！

イギリスの手料理だ！！！！

カナダも食べるよね！！？

カナ）うん。

イギリスが良ければ。

イギ）べ、別にお前等の為じゃ

なくて、ただ俺が料理を

作りたかったただだからな！！！！！！

アイル（うん分かった！！！！

俺も手伝うよ！！！！

カナ（僕も手伝います。

イギ（お前等・・・

じゃあみんなで作るか。

アイル&amp;カナ（うん！！！！

このあと料理はほとんど俺とカナダが作ったのだった。

兄との出会い2 (後書き)

アーサーが作らなければちゃん料理が出来上がるぞ!!!  
y・アイルランド b

アイル君、料理の報告ありがとう!!!

次回はどうなることやら・・・

感想等お待ちしています!!!

## イギリスが来たよ!!!1 (前書き)

イギリスが来ました!!!

いやあ、イギリスがアイルに会ったらどうなるのかなと思って書いてみました。

完璧なる私の想像です。

イギリスが来たよ！！！！1

俺がカナダとアメリカに会った5日後、  
またイギリスが家に来た。

イギ）アイル！！！！

遊びに来たぞ！！！！

べ、別に寂しかったとかじゃないんだからな！！！！  
お前の為何かじゃなく、俺の為何なんだからな！！！！

アイル）イギリス！！！！

来てくれたんだ！！！！

ありがとう！！！！

嬉しいよ！！！！

ぎゅむっ

イギ）なっ・・・！！！！！！！！！！

や、止めるよ！！！！

抱きつくなくて・・・！！！！

アイル）あ・・・ゴメンね？

だから嫌いにならないで？（）（）うる

イギ）泣くなよ・・・

大丈夫だ、嫌いになんて絶対にならねえ。

アイル）ほんと？



イギ）ああ、ほんとだ。

アイル）良かったあ！！！！  
．．ねえ、イギリス。

イギ）ん？ 何だ？

アイル）その妖精さん誰？

イギ）！！！！！！

おま．．．！！！！

妖精さんが見える．．のか？

アイル）見えるよ！！！！

どうかしたの？

もしかして俺、へんなこと．．

イギ）言っていない！！！！

大丈夫だから泣くなよ．．

????）あーら、イギリス。

妹を泣かせちゃダメじゃない。

イギ）泣かせてねえよ！！！！

．．ん？ ちよつと待てよ．．

お前、今妹って．．

????）何言ってるの？

この子は女の子よ。

イギ）え！！！！？

でも一人称「俺」だし、  
短髪なのにか!!!?

????(あら、それがどうしたの?)

この子は紛れもない女の子よ。

ま・ぎ・れ・も・な・い

!!!!

イギ(そこ強調するトコじゃねえよ!!!!)

アイル(喧嘩はダメだよ?)

????(.....)

イギ(どうした?)

????(か、か、.....)

イギ(なんだよ?)

????(かわいいいいいいつ!!!!!!)

イギ(当たり前だ。

俺n「お名前は!!!?」お前もかよ.....

アイル(アイルランド!!!!!!)

妖精さんは?

????(私はサリー)。

よろしくアイルちゃん!!!!!!

アイル) よろしく!!!

その時だった。

あの異音が聞こえたのは・・・

ギギギギギギ・・・

アイル) ん? なんの音?

サリー) あらららら・・・

サリーの目線の先には黒いオーラを纏ったイギリスがいた。

アイル) イギリス?

どうしたの?

どうか痛いのか?

俺はイギリスの背中をさすってやった。

イギ) ギ・・・

アイル) イギリス、大丈夫?

俺がずっと背中をさすり続けていると、いきなり抱きしめられた。

アイル) イギリス?

イギ) お前は優しいな・・・

アイル）イギリス、苦しいよ。

イギ）・・・ありがとう・・・

アイル）え？

イギ）何でもない・・・

その後しばらく俺はイギリスに抱きしめられていた。

イギリスが来たよ！！！！1（後書き）

アイル優しい・・・

そしてイギリスかわいそう・・・

サリーは「アイルってイギリスの妹だし妖精さん見えるのかなあ」と思って書きました。

イギリスが家に来たよ!!!2 (前書き)

再びわたくしめの完璧なる妄想timeでございます。

イギリスが家に来たよ!!!2

あの後俺が分かったのは、イギリスは寂しいと『ギギギギ・・・』  
という音を発するということだけだった・・・  
まあ、それはさて置き、しばらく3人で紅茶を飲んだり、おしゃべりしたりしていたのだけれど・・・

イギ) あ、そうだ。

アイル。

アイル) ん？

なあに、イギリス？

イギ) お前、1回俺と一緒に  
出てみないか？

アイル) 出るって何に？

イギ) 世界会議にだ。

アイル) せかいかいぎ？

イギ) ああ、そうだ。

アメリカとカナダも  
連れていこうと思ってる

アイル) 世界会議かあ・・・  
行ってみたい!!!

イギ) そ・・・そうか・・・／／／／／

(コイツの笑顔超カワイイ!!!)

アイル) イギリス?

顔が真っ赤だよ?

熱でもあるの?

コツンッ

イギ) おま・・・!!!

おでこくっ付けて

熱測んのヤメロ!!!／／／／／

アイル) 熱はないみたいだよ・・・

ってイギリス!!!?

さらに真っ赤になって・・・!!!

イギ) (お前のせいだあああっ!!!)



イギリスが家に来たよ!!!2 (後書き)

アイルが無邪気すぎる!!!

もしアイルが妹だったらぶっ倒れています・・・

**世界会議だよ!!! 1 (前書き)**

ネタを忘れる前に書かねば・・・!!!  
と書いて書いたら、前作投稿のすぐ後でした・・・

世界会議だよ!!! 1

イギリスが世界会議に連れて行ってくれたのはそれから2年位後だった。

行く日をしつたいきさつは、イギリスからの電話だった。

イギ) アイル!!!!

明日世界会議に行くぞ!!!!

アイル) . . . え . . . ええええつ!!!!

いきなりそんなことを言われ、今日に至る。

いやあ . . . .

明日はないよ、明日は。

さすがの俺も準備があるからね!!!!?

こちらの都合も考えて頂かないとね!!!!?

. . . てな訳で、来ました!!!!

世界会議に!!!!

アメリカもカナダももう出席してるらしい。

『成長が早くてビックリした』とイギリスが言ってた。

そうだよね。

俺まだこんな子供なのに . . .

まあ、そうゆう訳で俺は世界会議場に足を踏み入れる事になった . . .



世界会議だよ!!!2

会議場に入るとアメリカが出迎えてくれた。

アメ) H A H A H A H A H A つ

君達遅いじゃないか!!!

やあ、アイルランド。

久しぶりだね!!!

アイル) . . . . .

俺はポーゼンとしていた。

イギリスから聞いてはいたけど

成長早すぎだろ!!!

そして . . . なんとなく . . .

イギ) おい、アメリカ。

お前また太ったのか?

ああ . . . .

イギリス、それは言っちゃ . . .

アメ) うるさいなあ!!!

なら俺も言わせてもらおうけど、

この前君にもらったスコーン。

あれスツゴク不味かったぞ。

イギ) なっ . . . !!!

テメ . . . !!!

(汚い言葉なためモザイクとなっています。)

アイル）イギリス・・・

紳士じゃ・・・無かった・・・の？

アメ）えっ！！？

君、今までコイツを

紳士だと思ってたのかい！！？

俺が頷くと、アメリカが俺にささやさいた。

アメ）君も早く独立した方がいいよ。

アイル）ううん。

俺はサリーと約束したから。

アメ）誰だい！！？

サリーって。

アイル）俺の友達だよ！！！！

スツゴくかわいいんだよ！！！！

イギ）おい、なに話してんだ？

俺が口を開こうとした瞬間

アメリカが腕をつねってきた。

痛みを後ろを向くと、

アメリカが首を振っていた。

アメ）いや、何でもないと

さあ、行こうか。

イギ) あ、そうだ。

おい、アメリカ。

アメ) ん、なんだい!!!?

イギ) そいつ、『弟』じゃねえぞ。

アメ) なんだって!!!?

イギ) お、落ち着け!!!!

正確には『弟』じゃなくて、『妹』だ。

アメ) え・・・ええええつ!!!!

そんなに驚かないで欲しいなあ・・・

さすがの俺も傷付くよ!!!?

俺ってそんな男っばいかな?

まあ、髪短いしなあ・・・

アメ) まあ、いいや!!!!

行こう!!!!

そう言うとアメリカは俺の手を取って走り出したのだった・・・

世界会議だよ!!!2 (後書き)

ただいまアイルの名前を募集中です!!!  
感想共々、お願い致します!!!



世界会議だよ!!!3

俺らが会議室に入ると、いきなり誰かが駆け寄ってきた。

??? うっわあゝ!!!

君、スツゴく可愛いね!!!

俺とお茶しない?!!

・・・えっ?!!

これは・・・俺に言ってるのかな?

俺が何か言おうと口を開こうとした瞬間・・・

??? ヲエネ兄ちゃん!!!

なにやってんの!!!?

??? ヲエツ!!!

ゴメンよゝ!!!

バチカン、許してゝ!!!

バチカン・・・?

この声、聞き覚えが・・・

俺は顔を上げた。

そいつは・・・バチカンは・・・

俺の・・・かつての親友だった・・・

バチカンも俺に気付いたらしく、ふと顔を上げた。  
俺達の目があったとき・・・

昔の記憶が・・・まだ人間だった頃の記憶が・・・思い出されたのだっ  
た・・・

気が付いたら俺は泣いていた・・・  
何故だか分からない・・・  
でも、涙が溢れて止まらなかった。

最初に口を開いたのはバチカンだった。

バチ) 久しぶり・・・だね・・・

アイル)・・・い・・・た・・・

バチ) え？ 何て・・・

アイル) 会いたかったよおおツ!!!

俺はバチカンの腕の中で泣いた

ただただ泣いていた・・・

バチカンは・・・親友は・・・

そんな俺をずっと・・・ずっと抱き締めていてくれた

そんな俺達を周りの皆は不思議そうに眺めていたのだった・・・

お正月だぁッ！！！！（前書き）

めちゃくちゃお久しぶりです！！！！

で、もって…

あけましておめでとつございやすッ！！！！

っというわけで、

過去編通り越してお正月だぁぁぁッ！！！！

今年もよろしくお願いしあす！！！！

お正月だぁッ!!!

皆さん、あまk…ごほんッ、あけましておめでと…いままああ  
ああすッ!!!

本当にお久しぶりです。

さてさて、世界W学園のお正月は…

「「「A HAPPY NEW YEAR!!!」」」

スペ) 親分特製のパエリアやッ!!!

仰山食うてやぁッ!!!

イタ) パスタもあるよ!!!

ロマ) ピッツアもあるぞ。

バチ) ジェラートも

忘れないでね!!!

貴族) ケーキも召し上がりなさい。

ドイ) ヴルストもあるぞ。

イギ) 俺のスク「「「いらな「「「

そうかよ…(泣)

アイル) うわあゝ

おいひほゝ

いったただつきm…

日本) お雑煮とおせちです。

アイル) う…うまひよ…!!!!

バチ) 何語だよッ!!??

アイル) まあ、いいの

んじゃ、改めて…

「「「いったただつきまあ…すッ!!!!」「」

お…おいひ…!!!!

お雑煮うめえ…

祖国の味だあ…

懐かしいのお…

日本) あ…アイル君?

どうしました?

アイル) え? 何が?

日本) 涙が…

え? 涙…だと?

あ…ホントだ…

感傷的になっちゃった

アイル) いや… 何でもないよ…

ありがとう、日本…

日本) いえ…

お役に立てて何よりです。

アイル) ホント美味しいよ、日本。

日本) 恐れ入ります…

イタ) アイル)!!!!

パスタも食べてよ!!

アイル) うん!!!!

最初は友達もいなかった俺だけど、今はこんなにたくさんの笑顔がある。

仲間がいる。

それを実感した1日だった…

その頃…

とある部屋で…

不憫) 1人楽しすぎルぜ(泣)

お正月だぁッ！！！（後書き）

プロイセン不憫落ちです！！！！  
なんか新年早々スミマセン！！！！

国々が日本の家に来たようです(前書き)

本日はスペシャルゲスト込みです!!!



## 国々が日本の家に来たようです

皆さんこんにちは。

日本です。

本日は私とアイル君で

ご説明しようと思います。

アイル) 日本、聞こえてるよ。

日本) 本当ですか？

すみません…

アイル) いやあ…

これ俺の心ん中みたいな

モンだから、日本の声、

まる聞こえだよ？

日本) お恥ずかしい限りです…

眉毛) お前らさ…

さっきから何話してんだ？

アイル & a m p : 日本) お気になさらず。

眉毛) そ…そうか。

香港) あー、イギリス。

妬きもち妬いてる的な。

眉毛) ばッ…!!!!  
違えよッ!!!!

アメ) H A H A H A ッ  
まったくうゝ、君は素直じゃないなッ!!!!

眉毛) お前に言われたくねえ!!!!

日本) あのゝ…  
アイル君。

アイル) ん? どした?

日本) イギリスさんの扱いが  
酷い気がするのですが…

アイル) 気にしたら負けだよッ (黒笑)

日本) そうですか…  
すみません…

眉毛) だからお前「くたばれ」  
アイル酷えよッ!!!!

アイル) うるさい眉毛。

眉毛) 眉毛ゆるいなバカああッ!!!!

アイル) じゃあ、変態不憫飯マス眉毛似非紳士。

眉毛（ギギギギ…

アイル（やあくい！！！！

金色毛虫（！！！！

眉毛（なッ…！！！！

てか、何でお前がソレ

知ってんだ！！？

フラ（お兄さんが教えてあげたのさ

眉毛（んだと、この髭！！！！

フラ（何とでも言え！！！！

この元ヤン！！！！

眉毛（あ！！！！？

もう一回言ってみろ！！！！

フラ（元ヤン元ヤン元ヤン！！！！

コイツすました顔して

元ヤンなんですう！！！！

眉毛（んだと、テメえ！！！！

やんのかコラッ！！！！？

フラ（おッ！！

お兄さん受けて立つよ！！！！？

うるさい。

その眉毛と髭がうるさい。  
じゃ、ここはドイツの声で…

「貴様ら黙れッ！！！！」

おっと、ステレオしちゃった。  
本物が出てきたら仕方ないか…  
譲るよドイツ…  
あとよろしくね

ドイ（お前ら他の奴らが  
迷惑しているのが  
分からないのか！！？  
もつと自覚を持って行動しろ。  
以上だッ！！！！

うおおお…  
生「以上だ」聞けたよ…！！  
何か感動だわあ…

中国（そうある。  
ドイツの言う通りある。

おお…  
今度はにーにかあ…  
にーにの説教聞き飽きたなあ…

中国（お前ら、ホントに  
いつまで経っても  
子供のままじゃねーあるか。

そろそろ大人になるよろし。  
菓子やるからコレ食って  
落ち着けある。

「「「いらない。」」」

中国（）そうあるか…

しかし、こうしてイギリスさんとフランスさんの喧嘩は丸く収まったのです。  
めでたし、めでたし…

アイル（）それ俺のセリフ！！！！

日本（）恐れ入ります、すみません…

（完）

アイル（）勝手に終わらすなあ〜！！！！

国々が日本の家に来たようです（後書き）

落ちがよく分かりません…

恐れ入ります、すみませうん

国々が日本の家に改めて泊まりに来たようです。(前書き)

もう学へタ関係なっしんぐ

今回はアイル君の過去(人間だった頃)が分かるよ!!!

国々が日本の家に改めて泊まりに来たようです。

皆さんこんにちはッス!!!

この前は日本の家で大暴れしちゃったんで、改めて遊びに来ました  
!!!!

最初は遊びに来ただけだったけど、日本が泊まってもいいって言う  
から泊まる事にしました!!!  
今回は人数も増えたしね(笑)

日本) あの…

アイル君…

アイル) ん? 何?

日本) バチカンさんは…

アイル) ああ…

アイツ、今日用事が  
あるんだって。

日本) そうですね…

大丈夫ですか?

アイル) 何が?

日本) アイル君の目。

凄く寂しそうです。

アイル) そ…んな…こと…



日本) アイル君。

こんな時ぐらい素直になってもいいんですよ。

アイル) …う…ッ…ぐッ…

日本) アイル君…

本当は寂しかったんですよね。

アイル) う…ふえ…ふああん!!!

日本) 大丈夫です。

私達が側にいますから。

眉毛) 日本!!!!

何、アイルを泣かせてんだよ!!!!

日本) いえ、わ

アイル) イギ…ス…ちがッ…の…

日本) アイル君?

アイル) にほッ…は、

悪ッ…ないの…

眉毛) そか…

悪かったな日本。  
疑ったりしてさ。

日本) いえ…

イギリスさんは本当に  
アイル君を大切に

思っているんですね。

眉毛) ばっ…!!!

な、何をッ…!!!

アイル) イギリス…

眉毛) ん? 何だ?

アイル) ありがとう…

眉毛) なっ…!!! / / / /

べ…別に礼を言われる

ような事はしてねえよ…

日本) (イギリスさんのあんな

優しい声初めて聞きました…

本当にアイル君の事が

大切なんですね…)

フラ) うわッ…!!!

イギリスがアイルの事

泣かした…!!!

イギ) なっ…!!!

ちgg」違うよ。」

アイル…！！？

アイル）イギリスをいじめる

奴は許さねえぞ。

例えそれが…親でも…

「「「！！？」」」

眉毛）それは…

人間界にいたときの…

ことが…！！？

アイル）…何でもない。

日本）アイルk

アイル）何でもないッ…！！

日本）アイル…君…？

アイル）…ゴメン…

フラ）ちょッ…！！！！

待てよアイル…！！

俺は逃げ出した。

あの頃の記憶を掘り起こされたくなかった。

ほっという欲しかった。

でも…

アメ）おッ…！！

アイルじゃないか!!!  
…どうしたんだい!!!?  
君、裸足じゃないか!!!?

アイル) う…ぐ…

アメ) え…!!!?

アイル) ふあ…ふあああんツ!!!

アメ) ちよつ…!!!?

どうしたんだい!!!?

眉毛) あ…

おーい!!!

髭!!! 日本!!!

アイルがいたぞ!!!

日本) 本当ですか!!!?

良かった…

フラ) お兄さんだけ呼び方

ひどくない!!!?

三人の声が聞こえたから俺はとっさにアメリカの後ろに隠れた。

アメ) ちよつと君達!!!

眉毛) 何だよ!!!

アメ) アイルを泣かせたのは  
君達かいッ!!!?

眉毛) ちげえッ…訳ではないな…

アメ) 君が泣かせたのか!!!

日本) いいえ、アメリカさん。  
そういう訳ではないんです。

アメ) え!!!?  
じゃあどついう事何だい!!!?

日本) 実h「俺が話す。」  
…え?

アイル) みんな俺の人間だった頃  
の事知りたいんだろ?  
どうせいつか言うつもり  
だったし…

日本) 立ち話もなんですし、  
私の家に行きましょう。

アイル) うん。  
眉毛) そうだな。  
フラ) 了解  
アメ) いいんだぞ

## 日本の家

日本（お茶をどうぞ。

アイル（ありがとう…

眉毛（で、話してくれないか？

お前の昔のこと。

アイル（うん…分かった。

そうして俺は話し始めたのだった…

国々が日本の家に改めて泊まりに来たようです。(後書き)

ゴメンなさい。

ネタが切れました。

次回に続きまあいす!!--!

国々が日本の家に改めて泊まりに来たようです(前書き)

もう学へタ関係なっしんぐ

今回はアイルの過去(人間だった頃)が分かるよ!!!



国々が日本の家に改めて泊まりに来たようです

皆さんこんちわッス!!!

この前は日本の家で大暴れしちゃったんで、改めて遊びに来ました  
!!!!

最初は遊びに来ただけだったけど、日本が泊まってもいいって言う  
から泊まる事にしました!!!!

アイル) イエーイツ!!!!

俺が1番のりだいッ!!!!

日本) あの...

アイル君...

アイル) ん? 何?

日本) バチカンさんは...

アイル) ああ...

アイツ、今日用事が  
あるんだって。

日本) そうですか...

大丈夫ですよ。

アイル) 何が?

日本) アイル君の目。

凄く寂しそうです。

アイル)そ…んな…こと…

日本)アイル君。

こんな時ぐらい無理に  
笑わなくてもいいんですよ。

アイル)…う…ッ…ぐッ…

日本)アイル君…

本当は寂しかったんですよ。

アイル)う…ふえ…ふああん…!!

日本)大丈夫です。

私達が側にいますから。

「無理に笑わなくていい」なんて言われたのは初めてだった。  
そんな日本の優しさが嬉しかった。  
俺はいつも無理してた。

涙や悲しい顔は見せないようにしてた…  
いつも…笑ってた。

誰も傷付けたくなかった…  
でもそれが逆に人を傷付けていたのかもしれないな…

眉毛)日本…!!

何、アイルを泣かせてんだよ…!!

日本)いえ、わ

アイル)イギ…ス…ちがッ…の…

日本) アイル君？

アイル) にほッ…は、

悪ッ…ないの…

日本) (アイル君…

私を庇ってくれたんですね…)

眉毛) そか…

悪かったな日本。

疑ったりしてさ。

日本) いえ…

イギリスさんは本当に

アイル君を大切に

思っているんですね。

眉毛) ばッ…!!!

な、何をッ!!!

アイル) イギリス…

眉毛) ん？ 何だ？

アイル) ありがと…

眉毛) なッ…!!! / / / /

べ…別に礼を言われる

ような事はしてねえよ…

日本) (イギリスさんのあんな  
優しい声初めて聞きました…  
本当にアイル君の事が  
大切なんですね…)

フラ) うわッ!!!  
金色毛虫がいる!!!

イギ) なッ…!!!  
だm「うるせえよ」  
アイル…!!!?

アイル) 俺の兄貴を傷付ける  
奴は許さねえ!!!  
例えそれが誰でも!!!

「「「!!!?」「」

アイル) もう誰も傷付けたくねえんだよ!!!

日本) (あんなに怖いアイル君  
の目、初めて見ました…  
どうしたのでしょうか)

眉毛) それは…  
人間界にいたときの事  
と関係あるのか!!!?

アイル) !!!?…何でもない…

日本) アイルk  
アイル) 何でもないッ!!!

日本) アイル…君…?

アイル) …ゴメン…

フラ) ちょっ…!!!

待てよアイル!!!

俺は逃げ出した。

あの頃の記憶を掘り起こされたくなかった。  
ほっという欲しかった。  
でも…

アメ) おッ!!!

アイル) じゃないか!!!

…どうしたんだい!!!?

君、裸足じゃないか!!!?

アイル) う…ぐ…

アメ) え…!!!?

アイル) ふあ…ふあああんッ!!!

アメ) ちょっ…!!!?

どうしたんだい!!!?

眉毛) あ…

おーい!!!

髭!!! 日本!!!

アイルがいたぞ!!!

日本) 本当ですか!!!?

良かった…

フラ) お兄さんだけ呼び方

ひどくない!!!?

三人の声が聞こえたから俺はとっさにアメリカの後ろに隠れた。

アメ) ちょっと君達!!!

眉毛) 何だよ!!!

アメ) アイルを泣かせたのは

君達かいッ!!!?

眉毛) ちげえッ…訳ではないな…

アメ) 君が泣かせたのか!!!

日本) いいえ、アメリカさん。

そついう訳ではないんです。

アメ) え!!!?

じゃあどついう事何だい!!!?

日本）実h「俺が話す。」

…え？

アイル）みんな俺の人間だった頃

の事知りたいたいんだろ？

どうせいつか言うつもり

だったし…

日本）立ち話もなんですし、

私の家に行きましょう。

アイル）うん。

眉毛）そうだな。

フラ）了解

アメ）いいんだぞ

### 日本の家

日本）お茶をどうぞ。

アイル）ありがと…

眉毛）で、話してくれないか？

お前の昔のこと。

アイル）うん…分かった。

そうして俺は話し始めたのだった…

国々が日本の家に改めて泊まりに来たようです(後書き)

ggggでカーせん...

次回に続きます!!!!



## アイルの過去

昔：俺はいじめられっ子だった。

俺の兄貴：北斗兄ちゃんはその俺の事をいつも庇ってくれた。そして泣いてしまった俺に兄貴はいつもこう言ってくれた。

『泣きたい時は泣け。俺が側にいるから。』って…  
でも、兄貴は辛そうな顔をしていた。  
泣いてた。

だから俺は泣くことをやめた。

俺が泣くとまた兄貴が辛そうな顔をする。

俺の涙が兄貴を傷付けたんだって思った。

だからどんなにいじめられても兄貴やみんなの前では笑ってた。

もう…誰も傷付けたくなかったから…

俺の傷や泣いた顔を見てみんなが辛そうな顔をしたから…

でも…俺が小3のとき…

兄貴は死んだ。

いじめっ子が俺を、言う事を聞かないからと言って鉄パイプで殴ろうとしたとき、止めに入った兄貴が頭を殴られた。

翌日、兄貴は病院で息を引き取った。

兄貴が死んだのは俺のせいだ。

兄貴が死んだのは俺が弱いからだ。

また俺が兄貴を傷付けた。

そうやって自分を責め続けた。

それに俺ん家、家庭崩壊してたから、俺にとっては兄貴だけが家族だった。

母親には手をあげられ、父親はギャンブルで首が回らず、そのストレスで俺達を殴った。

殴られる俺を兄貴は庇ってくれた。

兄貴も辛いのには俺に優しい言葉をかけてくれた。  
そんな優しい兄貴がいなくなって両親の暴力は俺だけに振るわれる  
ようになった。

包丁が飛んできたこともあった。

ある日隣の住民が警察に通報して、俺は保護された。

そしてばあちゃん家に預けられた。

そこで勉強して、俺は私立校に進学した。

もうあの人達を傷付けないように。

その進学校でバチカンに会った。

明るくて無邪気で優しくて。

バチカンは俺と友達になってくれた。

俺もアイツが大好きだった。

でも、俺はコイツをまた兄貴みたいに傷付けててしまっんじゃない  
かと思った。

俺はいつでも無理して笑ってた。

心からの笑顔を知らなかった。

でもアイツに会って兄貴が死んでから初めて笑顔がこぼれた。

それと同時に涙もこぼれた。

あのとき以来の涙だった。

そんな俺をバチカンは抱きしめてくれた。

辛かったんだなって言ってくれた。

そんなとき俺はアイツに全てを話した。

俺は話しながら泣いていた。

そんな俺をアイツはいつまでも抱きしめていてくれた。

んで、今に至るって訳だ…

日本）そんなことが…

眉毛) …

フラ) そうだったのか…

アメ) ぐず… (泣)

アイル) 俺がフランスに声を荒げたのはイギリスと兄貴の姿が重なったからなんだ。

眉毛) アイル…

アイル) 何？

眉毛) 言いにくいだが…  
襖の前にみんな居るぞ…

アイル) え!!!? ウソ!!!

俺が襖を開けるとみんなが居た。

アイル) もしかして…  
聞いてた…?

ドイ) ああ…

イタ) ヴェー!!! (泣)

ロマ) うぐっ… (泣)

スぺ）辛かったんやなあ…

中国）大変だったあるね…

アイル）もう、居るなら居るって

言っつてよね！！！！

ドイ）すまない。

イタ）ヴェー！！！！（泣）

ロマ）悪い…

スぺ）堪忍やあ…

中国）すまねえある。

アイル）まあいつか！！！！

さて、メンバー揃った

ところでお泊まり会を

はっじめつるぞお

アメ）それは俺のセリフ何だぞ！！！！

アイル）ゴメン

アメ）絶対君悪いと思ってないだろ…

アイル）あ、バレた？

アメ）バレバレだぞ！！！！

まあ、こうして俺達のお泊まり会は幕を開けたのだった…

## アイルの過去（後書き）

絞め方が分からん!!!

あと暗い話しが長くなってすみません。

次回もお楽しみにね!!!

郵便です!!!

ある日、俺ん家に手紙が届いた。

アイル) 誰からだろ？

差出人を見てみると、

『世界W学園校長』

と書いてあった。

そして俺は思い出した。

あのへボいかm:げふんげふん、神様が言っていた事を

世界W学園の入学者数が足りない

そついえば俺らの本当の目的はこれじゃん!!!

ツぶね)、来た意味無くなるとこだったんだぞ

まあ、とりあえず読んでみよ…

アイル) えっと、なになに？

手紙

このたび、国々の為の学校ができました！。

ざまあみろー！。

いいお土産を持って来おい。

入学式は明後日です。

皆さん、来てくださいね。

P S . お風呂上がりに耳掃除

をすると湿っている。

ムカつく。

何なんだ、この校長。

まさかあの漫画の青ジャージなのか!!!?

もしや理事長は赤ジャージ!!!?

いやいや…

それはないよなあ〜(苦笑)

笑)

パサ…

アイル)ふえ?

あ、もう一枚紙があったんだ。  
気付かなかったよ〜。

アイル)んと…

はああああッ!!!?

そこにはこう書かれていた。

学園には国名ではなく、  
人名で通うことになるので  
名前を考えてください。

アイル)名前ねえ…

イタちゃんだったら  
フェリシアアーノみたいな  
ことだよね…

くくく

その時俺の携帯の着信音が、鳴った。

アイルくん？ 誰から？

携帯を見てみると「眉毛」と、書いてあった。  
フフ…ちよつとからかってみるか…  
アメリカの声で…

アイルくん もしもしイギリス？  
君が電話何て珍しいなあ。  
どうしたんだい！！？

眉毛くん なッ…！！？  
アメリカ！！？  
何でお前がアイルの  
携帯持つてんだよ！！！！

アイルくん 引つ掛かった〜  
俺はアイルランドだよ

眉毛くん お…お前なあッ！！！！

アイルくん H A H A H A  
ゴメンゴメン



で、どうしたの？

眉毛）あ、ああ…

お前ん家にも変な手紙  
届いたか？

アイル）うん、届いたよ。

眉毛）その事で集まるんだが  
お前来れそうか？

アイル）全然大丈夫であります！！！！

眉毛）じゃあ13:00に俺ん家で。

アイル）ヴェ！！！！

眉毛）お前って芸達者だな…

アイル）う、うるせえよ！！！！

ばあああかッ！！！！

眉毛）…！！？

俺の声も出せるのか！？

アイル）出せるよ

眉毛）スゲえな…

じゃ、後でな。

アイル(うん　じゃね

13:00(イギリスの家)

眉毛(みんな集まったか?)

アイル(イギリス、イタちゃんがないよ?)

ドイ(アイツ、またか!!!)

アイル(まあまあドイツ落ち着いて〜  
俺が呼んで来るよ)

ドイ(ああ。　すまない。

アイル(じゃあ行ってくる!!!)

日本(お気をつけて!!!)

さて…

まずはイタちゃん家に行ってみるか…

イタリア宅

アイル(イタちゃんいる?)

返事がない。

いないのかな？  
寝室に行ってみるか…

アイル（イタちゃん…

やっぱいた。

気持ちよさそーに寝てる。

可愛いなあ…

はッ…！！！！

いかんいかん。

今はイタちゃんを起こさなくては…！！！！

アイル（イタちゃん、起きて〜

イタ（ヴェ…ヴェ…

起きないなあ…

ここはあれを使うか…

アイル（イタリア！！！！

いつまで寝ている…！！！！

早く起きろ…！！！！

イタ（ヴェ…！！？

ごめんなさい…！！！！

ごめんなさい…！！！！

マジで何でもするからぶたないで…！！！！

アイル（はい、おはよう。

イタ) ヴェ?

ドイツは?

アイル) 俺だよ。

イタ) ヘー、そっか。

じゃあ「起きろ(黒笑)」

は、はい…

アイル) じゃあ行こっか。

イタ) ヴェ? 何処に?

アイル) 眉毛ん家。

イタ) ヴェ!!!? 何で!!!?

アイル) 今日は眉毛ん家で会議があるんだよ!!!

ドイツめっちゃ怒ってたよ!!!

イタ) ヴェ!!!?

早く逃げよ「ダメ」

ヴェ…

アイル) ほら行くよ。

イタ) はい…

再びイギリス宅

アイル）ただいまー。

ドイツ）イタリアあああッ！！！

イタ）ヴェええええ！！！

ごめんなさあ〜い！！！！

日本）ドイツさん。

そろそろ離してあげて

ください…

ドイツ）全く…

以後気を付けるように。

イタ）了解であります！！！！

アイル）ドイツ、頭痛薬と胃腸薬いる？

ドイツ）すまない。

貰っておこう。

アイル）良かった（笑）

眉毛）これで全員だな…

よし、会議を始めよう。

郵便です！！！ (後書き)

すみません。

ビミョーなところで終わりました。

次回もよろしく願います。

ネーミング会議!?!? (前書き)

とりあえず途中まで...

## ネーミング会議!!!?

俺らに届いた一通の手紙。

その中に「自分の人名を決める」という内容があった。

それについて話あおう…  
ということらしい。

眉毛) 何か意見はないか?

アイル) はあゝい!!!

眉毛) ん? 何だアイル。

アイル) これってファーストネームとミドルネームを考慮ろってこと?  
と?

眉毛) だろうな。

アイル) マジかよ…

ヴァ) どうしたアイル?

アイル) つまり兄弟は同じミドルネームだよな…

ヴァ) うん。

アイル) イギリスと同じミドルネームなんて、ヤダあつ!!!



眉毛) なッ…!!!

ばあああか!!! (泣)

アメ) 喧嘩はダメだぞ

とりあえずファーストネームだけでも決めようじゃないか!

!!!

アイル) アメリカにそれを言われる日が来るとは…

眉毛) 悔しいが、アメリカの

意見に賛成だ。

誰か案がある奴はいないか?

イタ) はい!!!

眉毛) もう決まったのか?

イタ) うん!!!

俺はフェリシアーノ!!!

ロマ) 俺はロヴィーノだ。

ヴァ) あたしはマリー!!!

アイルはリーシエルね!!!

アイル) 何で!!!?

俺もう決定!!!?

眉毛) じゃあ、俺はアーサーで。

アメ)俺はアルフレッドだ

カナ)僕はマシューにするよ。

不憫)俺はギルベルトにするぜ!!

ヴェストはルートヴィツヒな!!!

ドイ)俺のまで決めないでくれ。

不憫)ケセセセ

スペ)よし、決めたで!!!

俺はアントーニョや!!!

フラ)お兄さんはフランシスで

眉毛)まんまだな...(ボソ...

フラ)何!!!

お兄さん受けてたつよ!!!?

眉毛)あ!!!?

やんのかコラ!!!?

アイル)二人共、落ち着け!!!

席に戻れ!!!

眉毛& amp; フラ)ちっ...

ロシ）僕はイヴァンにしよう

中国）我は耀にするある。

日本）では私は菊で…

眉毛）よし、全員決まったな。

次はミドルネームか…

ネーミング会議!!? (後書き)

時間が無くてごめんなさい。

次回もお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9116y/>

---

アイルランドの学ヘタ日記

2012年1月8日23時57分発行